

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）事後評価調査

都道府県名	岩手県	事業実施主体	岩手県、岩泉町	地域再生計画名	岩泉西部地域の林業振興による地域活性化計画
計画期間	平成28年度から令和4年度	評価責任者	岩手県農林水産部森林保全課総括課長、岩泉町地域整備課長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標	基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価			
		基準年度	基準年度	年度	中間実績	基準年度	最終実績		指標総数	達成数				
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	林業新規就業者数の増加	-	-	12人	H30	6人 (H29)	25人	R4	21人 (R4)	×	3	1	いわての次世代林業・木材産業育成プロジェクト事業における林業人材の確保・育成に取り組み、目標値には達しなかったが、計画期間を通じて新規就業者は着実に増加した。
	指標2	素材生産量の増加	74,000m <sup>3</sup> /年	H24～H26平均	77,500m <sup>3</sup> /年	H30	72,734m <sup>3</sup> /年 (H29)	81,000m <sup>3</sup> /年	R4	72,400m <sup>3</sup> /年 (R3)	×	3	1	計画期間中、全国的に新型コロナウイルス感染症による生産活動の停滞やウッドショック等による影響があった中で、目標値に達しなかったが、基準値と同程度の生産量を維持している。
	指標3	高性能林業機械保有台数の増加	26台	H26	28台	H30	49台 (H29)	31台	R4	58台 (R3)	○			国庫補助事業や町単独の補助事業の活用などにより高性能林業機械の導入が進み、目標値を達成している。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1													
	指標2													

③事業の進捗状況	事業名	整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価
		計画	中間年度 (R1)	最終実績	
特別措置を適用して行う事業	林道整備事業（整備延長）	4.2 km	0.6 km	2.7 km	林道整備事業について、3路線中2路線はR2年度までに完成した。残り1路線の三田貝線については、H28年台風第10号により被災し、災害復旧工事がH30年まで及んだこと、町内全域的な災害復旧工事に伴う入札不調の影響等により、延長の整備実績が当初計画2.7kmに対し、1.3km（約48%）となったが、現在は他事業において、引き続き整備を行っている。
	町道整備事業（整備延長）	0.4 km	0.0 km	0.4 km	町道整備事業について、H28年台風第10号により被害を受けた公共土木施設（町道・河川）や林道施設の災害復旧工事を優先したため、R元年度までの着手が困難であったことから、計画期間をR4年度まで延長し、R4年度ですべて完了した。
その他の事業	いわての次世代林業・木材産業育成プロジェクト事業				H29年度に林業人材を育成する「いわて林業アカデミー」を開講し、県内各地に新規林業従事者を輩出している。H29年からR4までの修了生数は97名であり、うち2名が岩泉町内に就業した。また、木材産業関係者等を対象とした県産材の販路拡大に向けたセミナー、建築士や工務店等を対象とした木造技術に関する研修会の開催などに取り組み、県産材利用の意識向上や、木造建築の設計・施工のスキルアップを図った。
	高性能林業機械化促進事業				町単独事業による林業事業者に対する高性能林業機械導入経費の補助
	木材流通拠点整備事業				地域木材商社の設立
	木質バイオマスストーブ設置事業				薪ストーブ購入費等の補助
	森林後継者育成事業				森林後継者の育成支援
	森の日事業				森を守り伝えていくための植樹祭の開催
計画外で独自に実施した事業					水系の環境と沿岸環境の維持・保全意識の高揚を図る目的として、H13年からH28年までの15年間に渡り（東日本大震災津波等の大被害のあったH23年を除く）、植樹祭を開催した。現在は、植樹祭を通じて植えられた樹木の保育（下刈り等）を検討している。（計画期間中は新型コロナウイルス感染症禍により延期していたもの）

④評価方法	学識経験者2名から意見を聴取した上で評価・検討を行う。
⑤事後評価の公表方法	岩手県及び岩泉町のホームページに掲載
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、町道と林道を一体的に整備し、主要幹線となる国道とその支線となる町道・林道を含む道路ネットワークの構築により、物流・生産コストの縮減や森林資源の積極的な利用を図り、林業における雇用の創出や地域住民の居住環境の改善、所得の向上、地域の活性化・再生を目指し、各種事業に取り組んできた。指標1、2は目標値に到達しなかったが、指標1の林業新規就業者数については、「いわての次世代林業・木材産業育成プロジェクト事業」の取組などにより着実に増加してきている。また指標2の素材生産量については、新型コロナウイルス感染症による生産活動の停滞などの影響から県全体の素材生産量が伸びず、岩泉町においても同様の傾向となったが、基準値と同程度の生産量を維持している。
⑦今後の方針等	R4年度をもって本地域再生計画は終了しているが、現在、町内では「中部地域活性化計画」のもと、林道・町道の整備を進めている。引き続き、他事業等も活用しながら道路ネットワークの整備を推進し、森林資源の積極的な利用を進めるとともに、林業における雇用の創出、地域住民の居住環境の改善を図り、所得の向上及び地域の活性化を目指していく。